

令和5年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

川尻中学校区 校番 18 学校名 川尻中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	・生徒の主体的な思考を促し高めるために、本質的な問いの工夫を行った教員の割合、タブレット等のICT機器を効果的に利用し、生徒がわかりやすい授業を仕組んだ教員の割合の目標値は、あくまでも100%にしてほしい。
目標達成のための方策の適切さ	A	・良いと思います ・ボランティア活動は部活動単位でないと難しいのか。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	・将来の夢や目標を持っている生徒の割合は、77.4%と思ったより低いと思いました。よく知らない職業が増える中での指導は大変だと思いますが、子ども達のためによりしくお願いします。 ・ボランティア活動参加生徒の割合を90%と高く設定しているが、42.5%の実績の分析ができていますか。部活動単位、また、下半期に行うことを想定するなら、上半期の90%という目標は高すぎないか。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・良いと思います
その他		・地域懇談会は、夜(19:00)からの開催ですが先生方の出席を検討していただきたい。業務改善に反しますがよろしくお願いします。 ・ボランティア意識の向上を図ってほしい。(川中=ボランティア) ・特に意見はありませんが、生徒が楽しく、達成感を得られるような取組をお願いします。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>○主体的な学びへの授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育合同研修、校内授業研究を計画的に行い、授業改善に関する取組を小中で連携していく。 ・研修会の参加を促し、そこで得られたスキルを校内で共有する機会を定期的に持つ。 <p>○家庭学習の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き提出状況を生徒・保護者に定期的に示し、実態に応じて、担任と保護者が連携をとる。また、週1回の川中タイムを利用し、遅れてでもやりきらせるよう個別指導していく。 ・授業改善を充実させるとともに、川中タイムでは、引き続きQubena等を活用し、個人個人の基礎学力の定着を図る。 <p>○生活規律・学習規律の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会を中心に主体的に取組を行っており、生徒も意識して4動作の挨拶を意識して行っている。今後も継続して取り組む。 <p>○夢や目標への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や学級活動での学習を通して、将来の自分の生き方を考える場面を設定することにより、夢や目標を持てるよう促していく。 <p>○自尊感情の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア委員会より引き続き募集をかける。 ・3年生のボランティアの機会を設ける。 <p>○防災の意識を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期も避難訓練等あるので、引き続き命を守る大切さを伝えながら行っていく。 <p>○体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業や部活動等において、学校全体で生徒が主体的に取り組めるよう、生徒に自己決定させたり、授業等で話し合い活動を充実させていく。 <p>○食育の推進と体力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4時間目の授業者の給食当番への声掛けや、給食当番以外の保健体育委員の援助活動を促していく。特定のクラスが遅いが、給食当番の人数を増やす等改善していく。 <p>○生徒と向き合う時間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用教員の初任者研修時の授業実施のための後補充教員が1学期途中から割り当てられ、少しではあるが空き時間が増加した。今後も、初任者研修・分掌の効率化を図っていく。 <p>○長時間業務の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の精選に加え、教職員の職務への意識改革(優先順位、業務の重点化、見直しを持った業務遂行)を図っていく。また、主任・主事を中心とした連絡・調整を素早く行い、組織的に生徒と向き合える時間の確保を行っていく。
--------------------	---